

丸亀で会いましょう

造船現場で“造っている”ことを実感

あじき みき
今治造船株式会社 丸亀事業本部 阿食 美希さん

阿食さんは、高根県出身の入社6年目。就職合同説明会で造船会社のブースに立ち寄ったことがきっかけで、「造船現場で仕事がしたい」と思ったそうです。現在は、男性ばかりの職人たちの中で現場監督を務めています。そんな阿食さんに、今の仕事についてインタビューしました。

Q 仕事のやりがいは何ですか。

造船工程には、設計、加工、組み立て、組立品搭載、艤装(ぎそう)工事などがあります。これらの工程の中で私が主に担当しているのは艤装工事です。艤装工事とは、船舶に必要な機器や居住設備の搭載・取り付けなどを指します。

現場では、十数社の協力会社の職人が作業を行っています。私の仕事は、現場の職人たちがスムーズに作業ができるように段取りを行い、仕事の出来具合を確認することです。過去には、私のミスで、使いたいときにクレーンの予約が取れていなかったり、必要な資材がなかったりして、職人たちに迷惑をかけたこともあります。ですが、段取りがすべてうまくいき、作業が工程表どおりに進んでいるときは気持ちがよく、達成感があります。

Q 女性ということで困ることはありませんか。

船の進水後に作業をする際に、船上に女性用トイレがないことが不便なくらいです。後は女性、男性に関係なく、個人の問題だと思っています。

Q 後輩へのメッセージをお願いします。

まだまだ女性が少ない造船現場ですが、“造っている”ことを実感できる仕事です。汚れることを気にしないのなら、ぜひ女性にも来てほしい。今の私の仕事で大事なことは、予定どおり仕事ができているか確認することです。隅々まで確認するという作業は、女性に向いているのではないかと思います。

インタビュー後はまた現場に戻った阿食さん。巨大な船を前に臆することなく力を発揮する阿食さんの姿が目に見えそうです。



丸亀市男女共同参画情報紙



仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、老親の介護、地域での活動などの生活も暮らしに欠かすことができません。しかし、現実の社会には、長時間労働で心身の疲労から健康を害したり、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩んだり、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。それを解決する取組が、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現です。ワーク・ライフ・バランスの実現は、みなさん一人ひとりが望む生き方ができる社会の実現にとって必要不可欠です。

ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、それぞれの企業の実情に合った効果的な進め方を企業と従業員とで話し合い、自主的に取り組んでいくことが基本です。具体的には、労働基準法の遵守の徹底、育児・介護休業、短時間勤務など個人の置かれた状況に応じた柔軟な働き方を支える制度整備と、利用しやすい職場風土づくりの推進などがあります。

また、国・地方公共団体においては、企業や従業員、そのほかの市民のみなさんの取組を積極的に支援するとともに、多様な働き方に対応した子育て支援や介護などのための社会的基盤づくりを積極的に実施しなければなりません。具体的には、長時間労働の抑制等を目的とした労働時間設定改善の取組の支援、保育サービスの充実等の多様な働き方に対応した子育て支援の推進、地域で育児・介護等を行う家族を支える社会的基盤の形成などがあります。

また、国・地方公共団体においては、企業や従業員、そのほかの市民のみなさんの取組を積極的に支援するとともに、多様な働き方に対応した子育て支援や介護などのための社会的基盤づくりを積極的に実施しなければなりません。具体的には、長時間労働の抑制等を目的とした労働時間設定改善の取組の支援、保育サービスの充実等の多様な働き方に対応した子育て支援の推進、地域で育児・介護等を行う家族を支える社会的基盤の形成などがあります。



仕事と生活の調和の実現に向けて

～男女がともに生き生きと暮らせるまちをめざして～

丸亀市総務部人権課
男女共同参画室

Information

二つの講演会を開催します

おとなの知らない子どもの世界

ネット社会に傷つけられる子どもをどう守るか

スマホ利用者が急増し、アプリやSNS(ソーシャルネットワークワーキングサービス)によって、子ども同士の「見えない人間関係」が作られています。子どもたちが直面する現実について、豊富な取材例から具体的に解説していただきます。

- 講師 石川結貴さん(作家、ジャーナリスト)
- 日時 平成26年10月23日(木)・14:00～15:30
- 場所 綾歌総合文化会館アイレックス小ホール
- 定員 300人(先着順)
- 申込方法 名前、連絡先を事務局へお知らせください
- その他 託児(無料、10月10日(金)までに要予約、定員あり)、手話通訳があります。
- 申込・問い合わせ先 丸亀市人権・同和教育研究協議会(事務局:丸亀市人権課 TEL:24-8811)

あなたの働き方を変えてみませんか

個人も組織も成長するワーク・ライフ・バランス

自閉症の長男とうつ病の妻を持ち、育児、家事、介護に追いつけられない状況の中で、会社の仕事にも全力で取り組んできた佐々木さん。佐々木さんの実体験に基づくワーク・ライフ・バランスについて話していただきます。

- 講師 佐々木常夫さん(株)佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表)
- 日時 平成27年1月23日(金)・13:30～15:00
- 場所 ひまわりセンター4階研修会議室1・2
- その他 託児(無料、要予約)、手話通訳があります。
- 問い合わせ先 丸亀市人権課男女共同参画室(TEL:24-8823)

編集後記

女性の活躍なくして、我が国のこれからの発展は考えられない。管理職への女性の登用も大事だが、同時に、男性も含めた、長時間労働を前提とした働き方の見直しが不可欠である。限られた時間をどのように使うか——、それによって人生の豊かさは大きく変わってくるだろう。仕事も家庭生活もどちらも大事。人生の各ステージで、ワーク(仕事)とライフ(家庭生活)のバランスをどうとるか、自ら決めたものである。(T)